



かぶしがいしゃ しまんと

株式会社四万十ドラマ

～地元発着型産業作りとSDGsへの取り組み～

優秀賞



高知県版HACCPを取得した自社工場



人参芋と自社商品「いも焼き菓子ひがしやま。」

経緯

- 高齢化、後継者不足等が進む中、平成6年に「新しい価値観をつくり地域振興に寄与すること」を目的に、第三セクターとしてスタート。
- 平成17年に完全民営化し、「四万十川に負担をかけないものづくり」をコンセプトに地域の6次産業化に取り組む「地域商社」の先駆けとなった。

取組内容

- 令和3年に「しまんと地栗工場」を地域の雇用の場として建設し、高知県版HACCP新第3ステージを取得した。
- ネット広告やSNS等を活用し、地域の情報発信を積極的に行った。
- 「しまんと流域農業organicプロジェクト」を立ち上げ、今後10年間で栗を10ha新植し、芋の作付面積を今後5年間で10haへ拡大する取組等を開始。また、希少な「人参芋」を使用した商品開発や販路拡大に取り組む。

活動の効果

- 「しまんと地栗工場」の建設によって、製造能力の向上が図られるとともに、過疎地域における雇用の安定に寄与した。また、マスコミでも全国に紹介され、認知度が向上した。
- 当初1軒だった人参芋の契約農家数は43軒(令和4年度)にまで増加し、農業収入の向上に尽力することで地域連携強化にもつながっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

今後も関係各社で連携し、後継者不足や耕作放棄地の解消等、地域の課題解決に向けて取り組んでいきたい。